

GLOBAL MIND

GLOBAL MIND IS THE SPIRIT OF OSAKA INTERNATIONAL EDUCATIONAL INSTITUTION

大阪国際学園は、建学の精神である「全人教育」を基礎として、礼節を重んじ、世界に通じる心豊かな人間を育成します。

グローバルマインド

発行/(学)大阪国際学園総務課
〒570-8555 守口市藤田町6-21-57
TEL.06(6902)0787(代)
FAX.06(6902)8961
Eメール Koho@oiu.ac.jp
http://www.oiei.jp/gm/

大学・短大 4副学長体制

大阪国際大学・大阪国際大学短期大学部は、執行部体制を一層強化するために、10月1日付けで、4人の副学長体制を敷きました。これまでの堀江淳之助副学長が筆頭副学長で、新たに学長補佐の奥林康司ビジネス学部教授(学事担当)、学務部長の久保田豊司人間科学部教授(学務担当)、パナソニック常務役員だった宮本郁夫氏(国際担当)がそれぞれ副学長に就任しました。

奥林副学長は、神戸大学時代から経営学会の重鎮で、日本学術会議等で活躍し、中教審、学術会議等を中心とした文部科学省などの教学動向に対応します。

久保田副学長は、学生の女子ソフトボール全日本監督を務めたスポーツ指導者で、教学改革の実行役となります。

宮本副学長は、企業でアジア市場戦略の主役を務めた経歴の持ち主で、本学の海外展開戦略全般を担当します。

新しい執行部体制で、本学における教学の改革・改善をさらに一層加速させて参ります。

学長 北川 俊光



ベトナムの新たな協定校、ダナン大学。ダナン市は、日系企業の進出も盛んで、関西経済連合会も昨年11月に訪問するなど、大阪との交流も活発化している

巻頭 企画 GLOBAL VISION

グローバルビジョン

海外へ羽ばたく学生、3年後倍増目指し 大学、新たに4大学と協定

国際人として成長の機会提供

今年の理事長方針は「真の国際学園実現に向け 理念、国際性のあくなき追求」です。私は4月より国際交流担当を命じられましたが、大阪国際学園の理念実現のためには、広く世界で活躍し貢献できる人材育成が基本と考え、「海外留学・研修強化プログラム」を策定しました。

具体的には、協定校の拡充強化(3月末で38校)と語学研修先の多様化、ボランティア研修の拡充強化が基本です。今年度に入り、理事長・教職員の紹介・支援もあり、9月末で協定校はイギリスなどで4校増え42校となりました。現在も欧州諸国、タイ、ミャンマー、インドネシア、豪州、中国等協定校拡

大に向け精力的に活動中です。また、将来的にはアフリカ、南米の大学との交流も視野に入れていきます。去る9月29日枚方市で、本学もサポートし平成4年度から継続しているフランスのエセック経済商科大学院大学の交流学生開講式がありました。仏学生代表の「異文化を学ぶ喜び、実際



英国・セントラル・ランカシャー大学の留学生ラウンジ。本格的な英語コースを有し、各国から学生が集まる

新規協定校の概要

大学名	国名	所在地	交流内容	特記事項
1 山東女子学院 Shandong Women's University	中国	済南	教職員、学生の相互交流	山東省に位置し1952年に設立された。中国3大公立女子大学の一つで、学生数8,000人。
2 大林大学校 Daelim University College	韓国	安養	教育内容の情報交換 学術情報の交換	ソウル近郊に位置し1977年に設立された。職業教育に注力しており、学生数は6,000人。
3 ダナン大学 The University of Danang	ベトナム	Danang	共同研究	ベトナム中部に位置し、1994年4校が統合して設立された。学生数96,000人。近年、関西連とダナン市との交流が盛ん。
4 University of Central Lancashire*	イギリス	Preston	学生の相互交流	西北部のマンチェスター・リバプールに近く、1992年設立された。英国で6番目に大きな大学で、学生数は35,000人。

*は学生交流に関する協定のみ締結。その他は、教職員の相互交流、教育内容の情報交換、学術情報の交換、共同研究などが含まれる。

に現地に来て日本の文化の奥深さと美しさを学びたい」という日本語スピーチが印象的でした。本学学生にも異文化を学ぶ喜びを通して、国際人として成長する機会を今後も提供していきたいと考えています。(国際交流センター長 窪田 幸治)

守口キャンパス新1号館 基本コンセプト決定

守口キャンパス新1号館は、2015年の完成に向け計画を進めることとなった。本紙前号(第53号)では、2014年の完成を目指すとしていたが、その後、現1号館解体に向けた既存校舎改修工事計画の一部見直しにより全体スケジュールを変更することになった。

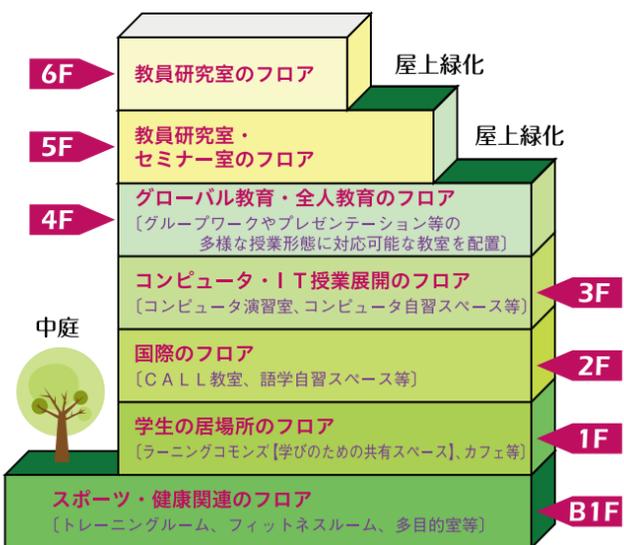
新1号館のあり方については、「新1号館建設委員会」で検討を進めてきたが、基本コンセプトを「グローバル人材育成の中核」とすることに決定。「豊かな国際性」と「主体的な行動力」を兼ね備えた「真の国際人育成のための教育を推進するため、各フロアを機能別に区分し、学園の建学の精神である「全人教育」が感じられる仕様を盛り込んでいる。

また、学生がキャンパス内でより長く時間を過ごすことができるよう学生の居場所を充実させるとともに、大学・短大の重要なミッションである地域との協働も念頭におき、地域への開放を積極的に行うスペースも設ける。さらに、夏期の温度上昇を抑える屋上緑化に取り組みなど環境問題にも配慮する。

現在、同委員会では、これらのコンセプトを盛り込んだ詳細な実施設計に向け検討を進めている。

(学園本部経営企画室長 藤川 博史)

新1号館 フロア構成(案)



CONTENTS

- 2面 国際交流
- 3面 地域連携
- 4面 活躍名鑑
- 5面 教学ニュース
- 6面 入試トピックス
- 7面 就職トピックス



8面 「ひと」 「つるし雛」でギネス認定 国際大6期生 北野 晃市さん

「お宅の学生は本当によくがんばってくれる。毎年、卒業生一人を採用してくれる大阪市に本社がある製菓会社の社長からお褒めをいただいた。有名国立大を卒業した人たちと比べても、毎年、営業の成績がいいというのだ。彼らは、必死にコミュニケーション力をつけ、がんばっているのだらう。社会人になって、成果を上げていく人は、必ずといっていいほど「学生時代にもっと勉強しておけばよかった」という。いま、がんばっているも、過ぎ去った日々が、戻らないことを実感するからだらう。

私たちが、生徒や学生の教育を預かる人間は、個々の人間の「やる気」をどうやって引き出すかが、究極の目的だらう。社会に出て後悔しないために、学生時代になぜ勉強しなければならぬかを理解し、走り出せたら、素晴らしいと思う。

自分で壁にぶち当たって初めて気づく。それが本当の力になるのかもしれないが、気づくのは、早いに越したことはない。スタートを早く切れる学校にしていきたい。

Time and tide wait for no man

大阪国際学園 理事長 奥田 吾朗

国際派目指す学生に新たな道

UCLANと協定校 英の公立大学

日本にとっても記録に残るロンドンオリンピックが開催された2012年、その11月に本学はイギリスのセントラル・ランカシャー大学(UCLAN)と交流協定を結び、UCLANは新しい協定校として仲間入りしました。

UCLANは、イギリス西北部ランカシャー州の州都プレストン市にあり、マンチェスターやビートルズが生まれた街リヴァプールまで車で1時間圏内の距離にあります(ロンドンまでは電車で2時間半)。プレストンは新しい街ですが、港町でもあり、素晴らしい田園風景や



留学生のための英語授業の風景。なかやかで楽しそう

教育環境、施設も充実 授業料免除で寮生活 本格的な英語コース

湖もある落ち着いた街でもありますが、UCLANの創設は1992年ですが、起源は1828年に遡る公立の大学で、約3万2000人(学部約2万8000人、大学院約4000人)の学生が、芸術、自然科学、社会科学、人文科学、医学などのコースを学ぶ一方、11の研究分野で世界をリードする大学としても高い評価を受けています。また、

た、教育環境や施設面でも近年充実化を計っています。UCLANで学ぶ留学生は2000人を超えており、世界の大学との交流協定も100に達しています。今回のUCLANと本学の間に結ばれた協定は、学生の交流を促進するもので、本学にとってイギリス交換留学の道を拓くものです。本学からの留学の中心となるのは、UCLANの英語コース International Foundation Programme in Academic English (IFPE) で、期間は9月からの半年または1年、授業料免除でUCLAN寮に住んで留学を送ります。IFPEの目標は、イギリスの大学や大学院へ入学できる英語力を身につけることです。入学時に一定レベルの英語力が求められ、授業も厳しそうですが、将来国際派を目指す学生にとって夢をかなえるキャンパスとなるはず。またさらに英語ス

海外へ雄飛してみませんか

20カ国55都市 留学へ、研修、初企画、積極的参加を

大学・短大国際交流センターでは、海外留学を専門とする3社(EFエデュケーション、JTBガイアレック、オセアニア交流センター)の協力の下、1人からでも参加ができ、海外20カ国55都市に派遣できる新研修である「海外チャレンジ研修」(仮)を企画しました。そして多くの学生に海外雄飛を考えてもらうために「海外留学キックオフウィーク」の様子

おり、交換留学生として留学可能となっています。この研修は、他の短期研修と同様に奨学金支給があります。(ただし、24年度は20人、25年度は40人) 国際化・グローバル化の第一歩として、学生の皆さんの積極的参加を期待しています。(国際交流センター 谷口 勝彦)

今後、日本の温泉地は…

韓国で東北亜観光学会 調査結果を発表

今年で2回目となった東北亜観光学会大学生国際発表大会が8月23日、韓国全羅北道全州市の全州大学校で開催されました。日本・韓国の16大学から46チーム146人が参加して、観光を学ぶアジアの学生たちが、「観光」をテーマに、7つの分科会場でわかれて熱心に議論を交わしました。

私たちが国際コミュニケーション学部渡邊章教授のゼミは「若者の温泉地に対する意識調査」のテーマで発表。4月に日本全国で上映され、大ヒットとなった温泉にまつわる映画「テルマエ・ロマエ」の公開を機に、日本の温泉地に、若者はどのようなイメージを持っているのかという点に興味を持ったことがきっかけでした。若者の温泉に対するイメージや外国人観光客となる留学生らの意向を知ることは重要であると

ビジネス学部経営デザイン学科 3年次生(インドネシア) Adrian Widhardjo (アドリアン ウィダルジョ) ①日本語はもちろん、日本の文化や日本人の性格なども学びたい ②機会があれば、日本で就職したい ③小学校から高校3年生までバドミントンをやっています。英語もある程度できます ④日本に来て、色々な人と出会って、自分の考え方も変わってきました

校方留学生別科 (中国) 周 芳伊 (シュウ ホウイ) ①日本語能力を身に付けて、視野を広げたい ②もう一度日本に来て、大学院で勉強したい ③ピアノ ④色々な外国語に興味があって、異文化との交流が好き

ビジネス学部経済ファイナンス学科 3年次生(ベトナム) Nguyen Thi Trang (グエン ティ チャン) ①経済の勉強だけでなく、もっと成長したい。アルバイトなども通し、日本という異文化を身につけたい ②日本の企業に就職し、様々な経験を積んでチャッスが活躍するベトナムで会社を設立したい ③日本の観光地を巡ること ④私の性格は人より良いところがないが、あるのは笑顔と気遣い。他人に対して精一杯優しく話し合うのは良い点です

ビジネス学部経済ファイナンス学科 2年次生(中国) 徐 陽 (ジョ ヨウ) ①ボランティア活動に参加して、日本人の団体の意義を身につけたい ②日本のようにまじめな人になりたい ③証券アナリスト。世界一周旅行 ④料理、音楽、アニメなど ⑤私は遊ぶのが好きで、遊ぶような女の子と友達になりたい。みんなと友達になりたいので、もしよかったら、絶対連絡してください

守口留学生別科(チリ人、でもニューージーランドから来ました) Marquez Bernal, Tania Xiomara (マルケス ベナル・タニア ショアラ) ①初めて日本に来たのだからいろいろ学びたい。例えば歴史と料理です ②ニューージーランドでは観光事業を勉強したので、将来は流暢な英語と日本語を話したい ③太鼓を少し。好きですがあまり上手じゃない

守口留学生別科(韓国) 朴 美淑 (パク ミスク) ①日本の歴史をもっと詳しく勉強したい。日本の昔のお寺や神社、古代遺跡がある所へ行ってみたい ②日本語をもっと勉強して母校の教授になりたい ③趣味は読書、時々クラリネットやピアノ、ワンピースを見ること。特技は料理が少しできる

大学留学生紹介 本学への留学生たち

国際大では、さまざまな国の留学生が学び、在学学生たちにとっても異文化を学ぶいい機会となっています。卒業後は、国際大で学んだグローバルマインドを糧に、母国と日本の架け橋となって活躍してくれることでしょう。そんな留学生たちの中から今号では7人を紹介します。(コメント) ①日本で学びたいこと、やってみたいこと ②将来の夢や目標 ③趣味・特技 ④自己PRやひとこと

お詫びと訂正
第53号でご紹介した韓 文ミさんのふりがなに下記の誤りがありました。お詫びし訂正いたします。
誤: カン → 正: ハン

昨年、先輩たちは優秀賞(清州市市長賞)に輝きましたが、今年度においては、学会は、発表までの取り組みを評価するという点で、日本チームすべてを奨励賞として評価しました。表彰式の後、今回の研修旅行では懇親会を通じて、現地学生や他大生とおおいに交流を深めることができたことは、これからの私たちの活動にも、大いに役に立つと思っています。なぜならいま、日本と韓国は、領土問題で政治的に非常に大きな問題を抱えています。私たちが若者が、観光による民間外交を続けていくことが両国の文化交流の橋渡しになると信じているからです。

来年も、後輩達がこの大会にチャレンジして、国際交流を続けて欲しいと思います。
(国際コミュニケーション学部 3年次生 荒井 雄太、玉川 太一)



留学生生活にも慣れ、友達と楽しい食事。(黒田さん 右)

黒田 美恵さん 国際コミュニケーション学部 国際コミュニケーション学科 2年次生 協定校 中国 東北大学に交換留学中(12年8月24日から13年2月まで)

7月中旬までの予定) 私は中国・遼寧省の東北大学に留学しています。留学してからは日本と中国の関係は良いとは言えない状態になり、中国では日本大使館の周辺で反日デモがありました。今でも日本人に対するタクシীর乗車拒否などがあります。日本人と言わなければ大丈夫です。留学してからは日本人が少なく不安がありました。中国人はもともと韓国人やロシア人、アメリカ人などといった様々な国の留学生と中国語で交流をしていくうちに不安もなくなり、自分の中国語が留学前と違い成長したと毎日思います。授業も先生の話されていることを理解できるようになり、毎日の生活

奥田政三教育・研究基金 来來へはばたく留学生

がとて充実しています。これからもっと積極的に中国語を話していきたい。友達を増やしていきたいです。

留学の楽しさ 大いに満喫中… 伊奈岡 政大さん 国際コミュニケーション学部 国際コミュニケーション学科 2年次生 協定校 香港中文大学に交換留学中(12年9月3日から13年5月24日までの予定)

私は香港にある香港中文大学へ約1年間、中国語を学びに留学しています。こちらの中国語

クラブ活動のサッカーで優勝。笑顔の伊奈岡さん

守口留学生別科(チリ人、でもニューージーランドから来ました) Marquez Bernal, Tania Xiomara (マルケス ベナル・タニア ショアラ) ①初めて日本に来たのだからいろいろ学びたい。例えば歴史と料理です ②ニューージーランドでは観光事業を勉強したので、将来は流暢な英語と日本語を話したい ③太鼓を少し。好きですがあまり上手じゃない

守口留学生別科(韓国) 朴 美淑 (パク ミスク) ①日本の歴史をもっと詳しく勉強したい。日本の昔のお寺や神社、古代遺跡がある所へ行ってみたい ②日本語をもっと勉強して母校の教授になりたい ③趣味は読書、時々クラリネットやピアノ、ワンピースを見ること。特技は料理が少しできる

地域連携の取り組み

2012年4月～2012年10月

- 4月
 - 大学 枚方キャンパス地域住民とともにまちづくりの横断幕(スローガン)を設置
 - 大学 「ひと・まち・であう」プロジェクト、学内お花見会・地域住民の協働で防災マップ作成
 - 滝井 内環クリーンACTに参加、『広報もりぐち』に掲載
 - 大学・短大 春の全国交通安全運動関連イベント「自転車マナーアップキャンペーン」に守口キャンパス体育会11人がボランティア参加
 - 滝井 吹奏楽部、守口市交通安全市民大会に出演
 - 大学・短大 ボランティア研究会、門真市立小学校、門真市生涯学習部地域教育文化課へ19回派遣(～10月)・寝屋川市地域振興課へ39回派遣指導補助
 - 大学・短大 枚方体育協会へ「スポーツクラブ」指導のため20回派遣(～10月)
- 5月
 - 大学 「ひと・まち・であう」プロジェクト、小学生と田植え・「茶摘み体験」参画
 - 大学 第8回朝市
 - 大学・短大 ラグビーフェスティバル
 - 大学 「枚方スマイルプロジェクト」始動一苗作りー
 - 大学・短大 ボランティア研究会、伊丹市自然学校に協力
- 6月
 - 大学 寝屋川市立産業振興センターのテーマ公募型セミナーでスポーツ行動学科の井上芳光教授が講師
 - 大学 「ひと・まち・であう」プロジェクト、「ふれあいフェスタ」運営・築250年酒蔵を活用した地域活性化に参加・中山道宿場町活用の地域活性化に挑戦
 - 大学 「ひと・まち・であう」プロジェクトがNPO法人政策マネジメント研究所賞受賞し、学長表彰
 - 大学 女子ソフトボール部、枚方津田高校・枚方なぎさ高校チームに技術指導
 - 大学・学園 教員採用試験合格をめざす公立学校在職者と本学学生を対象に「教志塾」を開催
- 7月
 - 短大 「東北地方太平洋沖地震被災地・地域活動」報告会
 - 大学・短大 「ひと・まち・であう」プロジェクトとボランティア研究会、七夕伝説のイベントに参加
 - 大学 第9回朝市
 - 大学 「菅原東校区 夏祭り」に「ひと・まち・であう」プロジェクトメンバーが協力
 - 短大 大久保中学校区地域共催イベント2012
 - 滝井 春日カーニバルに放送部、軽音楽部、ダンス部が参加
- 8月
 - 大学 京都府南山城村「学生交流センターの設立」始動
 - 大学・短大 枚方まつりの運営に約100人の学生が協力
 - 滝井 吹奏楽部 今市商店街パレード
 - 滝井 軽音楽部 柳町園お誕生会演奏
 - 大学 「全国大学政策フォーラム in 登別」で法律政策学科の学生が挑戦
 - 大学 スポーツ行動学科「サマースクール2012」
- 9月
 - 大学・短大 第4回被災地ボランティア派遣
 - 滝井 吹奏楽部がさくら苑老人ホームで演奏
 - 大学 「ひと・まち・であう」プロジェクト、地域の防災訓練運営・鳥取県智頭町で南山城村プロジェクトとともに政策提言
 - 大学・短大 競技チア&エアロビック部、MORI-KADOあきないフェスタ2012に出演
 - 大学・短大 「産学連携オープンセミナー in 京都」で大学国際コミュニケーション学部・短大ライフデザイン総合学科セミナーコラボ企画を発表
 - 大学 産学連携ミニプロジェクトIIこどものスポーツ教室後期開始
 - 大学・短大 寝屋川市池の里市民交流センター「運動会で一番になろう」講座に陸上競技部協力
- 10月
 - 大学・短大・滝井 ハッピーフェスティバルに大学競技チアリーディング&エアロビック部、高校吹奏楽部、軽音楽部が出演
 - 大学 枚方の里山・穂谷の収穫祭で学生がボランティア



地域協働センター開設 記念シンポジウム

人、それぞれ10分という短い時間の中に、地域活動で得た経験や熱く語ってくれました。プロ

遠方から参加、`協働`に高い関心 新たな可能性や指針 連携・協力 さらに発展へ

な意見をいただき、また大学と

命と感じています。
(地域協働センター)長 世戸 俊男

地域との連携・協力が今後発展していくよう、地域協働センターとしての課題も多々ありました。今回の参加学生達の積極的な地域活動を今後も継続させ、地域との絆(きずな)をさらに発展させていく土台づくりをこの地域協働センターの使命と感じています。

地域協働センター開設の記念シンポジウムを7月14日に開きました。来場者は、学内外あわせて約130人で、会場は、ほぼ満席になるほどの盛況でした。

枚方キャンパス

地域活動の成果 熱く語る

堀江淳之助副学長の開会挨拶を皮切りにプログラム第一部 学生による地域活動の成果発表、学生の口頭発表者は5

グラム第二部においては、学内外4人のパネリストの方々による知識・経験に基づいた、地域と大学のあらたな可能性を提示していただき、今後の地域協働センター活動の指針づくりに役立つ内容となりました。

会場前にはポスター発表のコーナーが設置され、15チーム(個人参加含む)が参加し、守口・枚方両キャンパスの学生達による地域活動が展示されました。なお、パネル討議等の内容をまとめた「地域協働センター開設記念シンポジウム報告書」を現在編集途中で、参加者・関係団体にご送付する予定です。

「包括連携協定」結ぶ

門真市と大阪国際学園は、9月3日に、地域全体の教育力向上を図るとともに、学生の若い力を町づくりに活かすなど、地域の活性化、人材養成を目的とした「包括連携協定」を結びました。

守口キャンパスは、門真市、守口市に隣接し80年の歴史を市民・学生と共に送ってきました。

この歴史プロセスで学べべきことが数多くあり、社会状況は変化しましたが、変化しないのは、「ひと」の営みで大切なのは、「ひと」と「ひと」との



さらなる連携を誓い固く握手をかわす、園部一成門真市長(右)と奥田吾朗理事長

地域活性や人材育成へ

様々な絆・結び付きであると感じました。協定締結により、組織的・継続的な取り組みが活発になることを期待しています。

(地域協働センター)

「ひらかたまつり」
軽快なサービス
交流の場を提供
軽音楽部ステージ運営

8月25日、夏の盛りには、枚方キャンパス軽音楽部40数人がボランティアとして、ひらかたまつりの会場のひとつである枚方市役所別館駐車場のステージを、まる一日マネジメントしました。部員たちにとっては、炎天下でのステージで初めての試みでしたが、十分に枚方市民と子どもたちに軽快なサービスと交流の機会を提供できました。

また、枚方6大学関係やNPO団体なども、演奏の機会を共有する事ができ、満足なステージ活動をしていただけたのではないかと思います。

特技や趣味生かし 中高生と交流の場

寝屋川市でボランティア研



学生たちによる「ちょこつ講座」、中高生らとごやかに...

大学・短大 ボランティア活動研究会部長(人間科学部心理コミュニケーション学科3年次生) 森 友貴恵

寝屋川市の「青少年の居場所(スマイル)」は、市内在住・在学の青少年が年齢に関係なく気軽に立ち寄れる居場所。相談・交流スペースとして、平成24年5月にオープンしました。

私たちがボランティア活動研究会の部員の多くが、寝屋川市教育委員会地域教育振興課の事業である「寝屋川リーダーズ・ユースクラブ」に登録し、「スマイル」オープンのおかげでスタッフなどの活動をしています。

野房さんの作品が ヘッドマークに採用

寝屋川市ブランド戦略室が企画した京阪電鉄、復活「びわこ号」



復活「びわこ号」前面に取り付けられた野房さんデザインのヘッドマーク

号」のヘッドマークのひとつに、現代社会学部情報デザイン学科 森友貴恵先生の「過去から未来へ」が採用されました。

作品は、京阪本線を通常運行する電車で、(10月中旬から25年3月)他の参加校のヘッドマークとともに前後に取り付けられる他、京阪電鉄や寝屋川市のイベント(京阪フアミリーレール・フェア、京阪なにわ橋駅B1など)で展示されます。

(地域協働センター)

夢と感動をありがとう!

ロンドン五輪女子バレーボールで日本の28年ぶりの銅メダル獲得に貢献した滝井高校卒業の山口舞選手の報告会が、夏空が戻った9月19日午前、同校体育館3階で開かれた。V・プレミアリーグの岡山シーガルズに所属する山口選手は赤を基調にしたJAPANNのユニフォーム姿で銅メダルを首にかけ、監督の河本昭義さんと姿を見せ、全校生をはじめ、同窓会、後援会、それに地元のみまわり保育園児ら約800人から祝福を受けた。



銅メダルを胸に「高い夢や目標を持って挑戦してください」と後輩たちに熱い思いを伝える山口選手

山口 舞選手 報告会

吹奏楽部が「真夏のSONNDS GOOD」を演奏、全員が起立して拍手する中、山口選手と河本監督が入場。会は、生徒会長の深江可那子さんの司会で始まった。校歌を斉唱の後、奥田吾朗理事長が、銅メダルを祝福したあと「山口さんは毎日、少しずつ練習して夢に向かった。それが世界に通じたのです。いいお手本がいまみなさんの目の前にいます。みなさん

も一人ひとりがその力を持っているのです」と生徒らに可能性があると励ました。バレーボール部監督の才崎哲次監督が二人を紹介。山口選手が高校入学時には特に目立った選手でなかったとしながら、「本人の負けん気と努力で、日本でナンバーワンのスピードを持った選手になった」と紹介した。河本監督は、山口選手が試合でベンチに下げられることがあつ

ロンドン五輪 バレーボールで銅、

島出身。 いう高得点を取得した。中国青

でも、いやな顔などしたことがない、といったエピソードも披露した。山口選手は「皆さんの応援が大変大きな力になりました。私は中学で全国大会に出ることもなかったのに、才崎先生から声をかけてもらった。滝井に来て

全校生、同窓生ら800人が祝福 「皆さんの応援力に」

努力、世界に通じた

「オリンピックで特に気をつけたことは。 「気負わないで、自分のできることを一日一日積み重ねました」

夢の舞台でメダルを取ったときの気持ちは。 「メダルが夢だったので、うれしかった。表彰台では、これまでがんばった練習のこととか、お世話になったみなさんのことが思い浮かんだ」

緊張した時にはどうしますか。 「試合前には対戦相手の映像を見て研究する。試合中に緊張した時は深呼吸します」

続いて、中田碩也校長が山口選手に「生徒や私たち学校関係者に感謝、勇気、夢、希望をあたえていただいた」と感謝状を読み上げた。また、生徒会会長の松尾弥幸さんから花束が、同窓会・撫子会の玉置晴子会長から記念品のフォトプレートが贈られ、山本信子後援会長と飯田昌弘副校長から、それぞれお祝い金が手渡された。

山口選手からも、ひまわり幼稚園児の代表にサイン入りボール、生徒にはサイン入り色紙が抽選で20名にプレゼントされた。

最後に吹奏楽部が「喜びへ歩きだせ」を演奏。山口選手と河本監督は拍手が鳴り止まない中で会場を後にし、約40分の報告会を終えた。

なかったら、こんなことにはなっていなかったでしょう。みなさんも高い夢や目標を持って、それに向かって挑戦してください」と励ました。

このあと、生徒会副会長の野上遥夏さんが、生徒を代表して山口選手にインタビュー。

滝井高校卒業 V・プレミア 岡山シーガルズ所属

した。大学の課外活動奨励者表彰のを知り、勇気をだして挑戦しました。初めての受験でこの点数には自分でもびっくり

将来、教師か通訳者に…

しました。 TOEICは問題数がとても多く、集中力と体力が必要だと思えます。問題を速く解けるように、基礎の強化、時間を

大学女子ソフト 準優勝 西日本インカレ 部員45人全員が一丸…



“一人ひとりがチームの為に”をモットーに全員で勝ちとった準優勝!

私たちは女子ソフトボール部は、8月に行われた第44回西日本大学女子ソフトボール選手権大会(西日本インカレ)において準優勝することができました。春季リーグ戦では思うような結果が残せず、なぜリーグ戦で負けたのか、どうしたら勝てるのかをミーティングで話し合い、自分たちで練習の内容を考え、西日本インカレに向けて練習試合を重ねてきました。

大会には部員45人全員で臨みますが、試合に出るのは10人、ベンチには25人しか入れませんが、ベンチの外にいる選手たちのサポートや応援があったから

こそ、そして、この大会では「For the team、一人ひとり」がチームの為に、をモットーに掲げ、それぞれが役割を果たすことを徹底したことが準優勝に繋がったと思います。また、この勝利には、沢山の先輩方や周りの方の応援があったことを忘れるわけにはいきません。

部員一同は、最後まで諦めずに、継続することが結果に繋がることがを西日本インカレの大会で学びました。その経験を生かして、これからも頑張っていきたいと思います。

（別途記事掲載は省略。敬称略）

大学・短大 ワンダーフォーゲル部

- 6/30 ジャパンカップ 6位
- 8/26 北山川ラフティング大会 3位
- 9/8~9 天竜川ラフティング大会 6位

陸上競技部

- 6/22~24 日本学生陸上競技個人選手権大会出場 女子3000m SC 高橋由佳(スボ行3)▽砲丸投 中野江里子(同)

競技アリーディング&エアロビクス部

- 9/16 関西スポーツエアロビクス競技大会 OHS CUP

2012 優秀賞(準優勝)

滝井高校 バレーボール部

- 6/16~17 インターハイ大阪府予選4強リーグ戦全勝優勝
- 8/6 インターハイ決勝トーナメント1回戦敗退
- 7/26 近畿高校優勝大会 優勝(11年振り5回目)
- 9/2 近畿6人制総合選手権大会 3位
- 10/6 国体出場 2回戦敗退
- 8/17 We Are Steaker Ages 予選会 優秀校賞、グランプリ大会出場権獲得

フェンシング部

- 6/10 団体インターハイ出場権獲得。野瀬なつき(3)フルレ個人、

サーブル個人出場

- 8/3 野瀬 サーブル予選通過、トーナメント1回戦敗退

吹奏楽部

- 7/26 大阪府吹奏楽コンクール北地区大会 金賞
- 8/10 大阪府吹奏楽コンクール 銀賞

大和田中・高校 美術部

- 7/24~29 大阪私学美術展優秀賞(高校部門) 北川美海(3)▽木下優花(1)(中学部門) 井田沙霧(3)

大和田高校 女子ソフトテニス部

- 10/13 大阪高校総体(団体)リーグ戦 優勝

男子ソフトテニス部

- 5/12 近畿大会個人戦 2回戦敗退 大西健太(3)・柴山陽向(3)
- 8/21 大阪私立総体団体3位
- 10/13 大阪高校総体(団体)リーグ戦 優勝
- 10/17 中央大会ベスト16、近畿インドア出場権獲得 山本雄大(2)・前川和摩(2)

大和田中学 バレーボール部

- 4/29 北河内春季大会 優勝(34季連続34回目)
- 7/27 大阪中学校優勝大会ベスト8
- 8/30 JOCジュニアオリンピックカップ中学バレー北選抜代表メンバー 高屋鋪佳世(3)
- 9/16 北河内秋季大会 優勝
- 9/17 大阪私立総体 準優勝
- 10/8 大阪秋季総体 優勝

男子ソフトテニス部

- 4/28 北河内新進大会 滝谷優樹(3)・瀬野智也(3) ベスト16
- 8/20 大阪私立総体団体 3位

剣道部

- 7/15 大阪中学個人選手権大会 橋本由季(3) ベスト16
- 7/27 大阪中学校選手権大会女子団体 ベスト8
- 9/1 北河内大会(秋季) 女子団体 ベスト8
- 10/8 大阪校秋季総体女子団体 ベスト8

陸上部

- 8/25~26 第15回大阪私学大会 100m走2位 翁田 宙(3)、4x100mリレー 7位

←次頁へ

7月

- 大学 宮内俊男客員教授ら、上場企業の株主総会の概要を講演
- 大学・短大 海外危機管理オリエンテーション
- 大学・短大 中国協定校の浙江万里学院一行訪問
- 滝井 国際科 加語学研修

6月

- 大学 経済ファイナンス学科で枚方税務署による「大学生のための税講座」
- 大学 高校教員対象スポーツ行動学科説明会
- 短大 幼児保育学科平成24年3月卒業生就職決定率100%達成で学長表彰
- 滝井 豪交交換留学生報告会
- 大学・短大 クールビズ取組みの環で被災地復興支援ポロシャツ着用品推進
- 大学・短大 中国協定校の上海師範大学天華学院一行が表敬訪問

5月

- 幼稚園 和太鼓指導
- 幼稚園 食育指導「食べ物の名前を知ろう」
- 大学 中国語インテンシブ新入生歓迎餃子晚会
- 大学 「東日本大震災・子ども」の学び支援「リアルサイ」を通じた支援に対し文部科学省より感謝状
- 大学 地方自治体職員による大和田中・高 豪留留生が来校
- 大学 経済ファイナンス学科で枚方税務署による「大学生のための税講座」
- 大学 高校教員対象スポーツ行動学科説明会
- 短大 幼児保育学科平成24年3月卒業生就職決定率100%達成で学長表彰
- 滝井 豪交交換留学生報告会
- 大学・短大 クールビズ取組みの環で被災地復興支援ポロシャツ着用品推進
- 大学・短大 中国協定校の上海師範大学天華学院一行が表敬訪問

4月

- 短大 ライフデザイン総合学科、海外インターンシップ(加)報告
- 学園 奥田政三・教育研究基金、滝井高校 海外派遣留学の6人に授与
- 大学 聖徳大学通信教育部提携小学校教諭一種免許状取得支援プログラム、受講生第1号に前田涼華さん
- 大学 枚方学習支援センターと学生相談室、新入女子学生対象にティーアワー
- 大学 新入生対象、大学生活導入プログラム「自分発見のススメ」
- 大学 フレッシュユマン・アイ・キャン、新入生対象
- 大学 海外オリエンテーション
- 滝井高 新入生宿泊研修
- 大和田中・高 吹奏楽部 Spring Concert2012
- 大学・短大 「ランチアワー(手話でランチ)」
- 大学・短大 e-learning 講義「Model」多言語対応
- 大学 経済ファイナンス学科、生命保険文化センターの実学講座
- 大学・短大 日本語教員アシスタント報告会
- 大学・短大 中国・山東女子学院一行が訪問
- 幼稚園 和太鼓指導
- 幼稚園 食育指導「食べ物の名前を知ろう」

学園ニュース

2012年4月~2012年10月

企画テーマ	査定金額
学生による学生のためのリアル・コミュニケーションスペース作り ～人と人のつながりを目指して～	422,000
ドキュメンタリー・ロードムービー制作 四国八十八ヶ所 自転車て制覇!!	307,000
グローバルマインドを具体化する海外交流プログラムに向けて ～The challenge to make a relation between OIU and Korean university～	211,200 (同窓会特別賞)
料理を通じた「食育」、「異文化交流」、そして世界に繋がる「TFT」	175,000
つながり fes2012 ～枚方の高校生と大学生の合同音楽ライブ～	407,900
Make Dreams Happen ～第3回世界大学生リーダーシップシンポジウムinバリ島～	500,000
学生交流センター設立	500,000

学びウォッチング

話せる英語めざして 英語クラス2分割授業 大和田中学「英語科」

読み、書き、話し、聞くを修得

「キース」。ワークシートの問題に挑んでいた女生徒が大きな声で先生を呼ぶ。大和田中学校のユニークな英語クラス2分割授業の風景だ。生徒がネイティブの先生と触れる機会を増やし、少人数で個別指導がしやすいことを狙った授業で、十数年続いている。1999年に就任したジュディ・マーティン先生が導入した。

「お天気は」「町を訪ねる」などさまざまな内容だ。オックスフォード大学出版が出している外国人が英語を学ぶための教材で、初級から段階が上がっていく。生徒は、4、5人のグループに分かれて、テキストを読み、ワークシートで、理解度をチェックする。分からないことがあれば、辞書



少人数でネイティブの先生との距離が近く、生徒が毎日気軽に英会話を楽しめる環境になっている。

クラスを半分に分け、最初の25分は、ネイティブの先生、あと半分は日本人の先生が担当。もう一方は、この逆になる。英語の授業は週7回あるが、1年は5回、2年3回、3年2回、この方式で授業を進める。1年生は、月曜から金曜まで毎日、ネイティブの先生の英語に触れることができるわけだ。

を引いて調べたり、冒頭のように先生を呼んで質問する。質問は、日本語に英語が時おり入る程度だが、先生はグループを回って笑顔を絶やさない。ネイティブの先生は、あとオーストラリアの男性が担当している。ネイティブの授業のあとには、CDやパソコンのスライドを使って、教科書を朗読したり、言葉の意味を理解していく。案内してくれた辰巳ゆきえ先生は「読み、書き、話し、聞くの4技能を総合的に修得できるように心がけています」。長くこの授業を見ている鹿島秀樹教頭も「ほぼ毎日、ネイティブの先生の英語を耳にすることで、英語を身近に感じ、いい動機付けになっていると思います」と話していた。

10月末の1年1組の授業を見せてもらった。担当は、イングランド出身のキース・ティントン先生と上杉雅美先生。

先生は40歳だが、生徒は、みんなファーストネームの「キース」で呼ぶ。

テーブルにカラフルな絵本のようなテキストが並べられている。「サファリで」「数字のマジック」

豊富なアイデアと独創性発揮

学生の優秀なアイデアや企画に奨励金をつけて支援する「学生チャレンジ制度—Challenge The Global Mind—」。第8回目を迎えた今回は、14件の応募のうち、最終審査を通過した次の7件が採択された。それぞれに、企画内容に応じた奨励金が決定。金額については、最終的な報告段階で査定が行われ、支給される。いずれもオリジナリティに富んだ企画で、学生たちは実現に向け、意欲的に取り組んでいる。今回はそのうち、3件の代表者から報告をもらった。

学びたい子に学ぶ機会を 行動で世界への扉を開く

Make Dreams Happen / 第3回世界大学生リーダーシップシンポジウムinバリ島
ESS、経営情報学部経営情報学科4年次生 斉藤 拓己
「人は行動することで変化を起こすことができる。何もなければ何も変えられない」これはバリ島で行われた第3回世界大学生リーダーシップシンポジウムに参加して得たことです。ここでは世界各国の学生が集まり、貧困、環境問題など、

世界共通の課題について講話を聴き、議論をしました。彼らは母国の未来のため、自らの考えを実際の行動に移していました。私は彼らの考え、行動力、挑戦心に驚き、私は世界にどれだけの貢献できるのかを考えました。以前の私は考えに自信が持てず、何もませんでした。しかし、今は世界中の学びたい子供たちのため、学ぶ機会を提供したいという具体的なチャレンジ精神を持ち、行動していま

グローバルマインドを具体化する海外交流プログラムに向けて「The challenge to make a relation between OIU and Korean university」
人間科学部スポーツ行動学科3年次生 杉原 慧
今年の夏、私たちは学生チャレンジ制度において同窓会特別賞をいただき、韓国で開催された学会「New Horizons and Practices of the Social Sciences of Sport in Asia」に、スポーツ行動学科について発表を行いました。韓国の方々との交流を図るという貴重な体験をしました。本学科の現状は、一部の学生が海外交流を積極的に行っており、もっと多くの学生に海外に目を向けたい、そのため、大学が用意したプログラムではない海外体験をまず自分たちで実践し、懸橋になりたいと思いい学会に参加しました。



学生チャレンジ制度発表会でスピーチした英語学科の学生たち

英語訳に苦戦しつつも、先生と協力し、資料を作り上げ、韓国へ飛び立ちました。人前でのプレゼン、慣れない英語での発表で普段なら味わえない緊張感に包まれ、発表を終えることができました。学会で感じたのは、他大学生、韓国学生の英語力の高さです。英語での質疑応答にも対応し交流を図る彼らには、憧れさえいだきました。韓国の投げた言葉のボールを受け止める懸命に理解し、優しく返してくれました。その心が嬉しく、言葉の壁があっても分かち合えることを実感しました。韓国へ行き、自分の視野の狭さ、知識の浅さを痛感し、繋がりたいという気持ちだけでなく、外の世界との交流には知識が必要なこと、自分の課題を解決していく前向きな気持ちと行動力を学びました。学生のみならず、この経験を知ってもらい、世界と繋がりたいと感じてほしいのです。

韓国学会参加を支援してくださった全ての方々への感謝の心を忘れず、これからも成長していきたいと思っています。

海外体験を自ら実践し 世界との交流の懸橋に

それは彼らから得た「夢をもつこと、そして始めること」を実践しているからです。今回のシンポジウム参加は、私に変化と自信を与えました。さらに、行動により世界への扉



シンポジウムに参加してできた各国の仲間たちと。写真中央が斉藤さん。左から2人目が同じJMSの全大志さん

を開き、将来への道を踏み出せることができた今までにない素晴らしい経験でした。

◇
なお、ESSは、ASEAN青年協力委員会より、NGO団体「Humanitarian Affairs」(本部 ロンドン)を通じて、表彰状を授与された。今回のシンポジウムでは、これまで取り組んできた活動(タイの孤児院へ絵本を贈る、フィジー島でフェアトレードに挑戦など)を紹介し、「Tree of The Global Mind」という世界中が助け合えるシステムの提案を訴えた。その結果、「社会の変革のための青年育成に多大な貢献をしていく」という点において、高い評価を受け表彰となった。

企画が採用され、気持ちが高まるのと同時に、不安や重圧を感じるようになりました。ところが、実際に巡礼を始めると、そうした不安が徐々に薄まっていき、新しい場所に向かうことが楽しく感じられるようになりました。道中では、地元住民の方や同じ巡路仲間の方とも交流する機会があり、自分がいろんな人に支えられて生きているのだと強く感じました。

無事に旅を終えて、「灼熱の旅」という巡路巡礼の様子と巡礼者へのインタビューで構成された約60分の作品を完成させることができました。今後は、多くの人に巡礼中に体験したことを紹介できたらと思います。

幼稚園絵画表彰

第49回 大阪府(園)の保健
図画・ポスターコンクール
入選▽あやめ組(年長) 瀬戸山姫菜▽ゆり組(年長) 宇都宮夢乃▽浦上月暢▽森本菜央▽すみれ組(年中) 中村志龍
(受賞作品は、10月、JRD大阪環状線車内に展示された)

遍路巡礼での貴重な体験 多くの人に映像で紹介を

ドキュメンタリー・ロードムービー制作 四国八十八ヶ所 自転車て制覇!! 映画研究会、人間科学部心理コミュニケーション3年次生 道上一 友裕
私たちは映画研究会は、今年の夏休みを利用して1本のロードムービーを制作しました。もと

- 7月→ 大学 経済ファイナンス学科「日本損害保険協会による特別講座」三井住友銀行による寄付講座 大和田中 日本新聞協会2社実践校に新規参加 大和田中 ESS Summer Cooking in English 大学 心理コミュニケーション3年次生 映画研究会、人間科学部心理コミュニケーション3年次生 道上一 友裕
- 8月 短大 ライフデザイン総合学 科キャリアデザインコンコース、資生堂 阪上明子氏ムイクアップ講習 大学 短大 学業優秀者表彰 大学 卒業生の中西亮太さん、全国消防救助技術大会近畿引揚救助(団体)で優勝し全国大会出場 大学 短大 初のGood Teachers表彰式、11人を表彰 大和田高 日本舞踊 若菜会ジュニアコンクールで東田梨花さん(一)、読売新聞社賞 学園 プロサッカコンサート 大学 スポーツ行動学科「海洋野外スポーツ実習」 大学 卒業生の根本孝思さんの小説「THE QUIZ」がテレビドラマ化 大学 留学生別科後期入学式と新入生歓迎パーティ 滝井 文化祭に吉田山田がゲスト出演 大学 卒業生の野野愛地さん、堤幸彦監督、戸田恵子主演の舞台に出演 大学 情報デザイン学科「ものづくり合宿」 大和田中高 関西大学高大連携プログラム 大学 短大 全学English Speech Contest・日本語スピーチコンテスト・English Essay Contest 大学 岐阜国体 サッカー女子 府選手団に齋藤敏子(スポ行4)さんが選出 大和田高 河合塾サテライト 授業受講 大学 短大 女子寮寮費を改定して減額 大学 滝井 高大連携で留学生と高校生淡路島で校外学習 大和田中高 薬物乱用防止教室 幼稚園 いもほり遠足 大学 短大 フランス・エッセック経済商科大学院大学とE.S.S.ボウリング大会
- 9月 大学 留学生別科後期入学式と新入生歓迎パーティ 滝井 文化祭に吉田山田がゲスト出演 大学 卒業生の野野愛地さん、堤幸彦監督、戸田恵子主演の舞台に出演 大学 情報デザイン学科「ものづくり合宿」 大和田中高 関西大学高大連携プログラム 大学 短大 全学English Speech Contest・日本語スピーチコンテスト・English Essay Contest 大学 岐阜国体 サッカー女子 府選手団に齋藤敏子(スポ行4)さんが選出 大和田高 河合塾サテライト 授業受講 大学 短大 女子寮寮費を改定して減額 大学 滝井 高大連携で留学生と高校生淡路島で校外学習 大和田中高 薬物乱用防止教室 幼稚園 いもほり遠足 大学 短大 フランス・エッセック経済商科大学院大学とE.S.S.ボウリング大会
- 10月 幼稚園 いもほり遠足 大学 短大 フランス・エッセック経済商科大学院大学とE.S.S.ボウリング大会

本学の魅力を存分に発信

6月の守口キャンパスでの開催を皮切りに始まった今年度の夏のオープンキャンパスも、10月に実施した枚方キャンパスでのオープンキャンパスを最後に、無事に終了することができました。今年度も多くの高校生の来場があり、昨年度と比較すると若干の増加となりました。

各学科ブースでは当該学科の学生が複数名おり、訪れた高校生たちに熱心に学科の説明を自分の体験談を交えながら説明していました。また、高校生たちも自分の興味のある学科の先輩から直接色々な話を聞くことができ、「これまで不安に思っていたことも全て解消できた」という感想もあり、進路決定に大いに役立てたのではないかと感じています。

大学・短大 オープンキャンパス報告



在学生が留学経験やキャンパスライフの楽しさを生の声で、高校生に語る

今年度は新たな取り組みとして、The English Zone を設置しました。この空間内で話せる言語は「英語」だけとし、日本にいながら海外を体験できるような空間を創出しました。入口付近では、ネイティブの先生や英語インテンシブコースの学生たちが訪れた高校生に話しかけていました。最初は、「上手に英語を話さない」と思って緊張していた高校生たちも、アクティブ・プログラムを通じて「英語が苦手な嫌いな私でも楽しいと思えた」、「英語を話すことができて楽しかった」という感想をいただくことができました。その他、競技チアリーディング&エアロビクス部によるパフォーマンスや吹奏楽部による演奏会なども実施し、「大

各学部生、自らの体験交え 高校生と“直接対話”

「進路決定に役立った」の声も

阪国際大学の魅力」を存分に知っていただけたのではないかと感じております。

また、今年度は開催前に「未来

生に送りました(写真8面)。「毎回のメッセージが楽しみでした」「イラストが可愛い」との声もあり、自分の未来の姿を思い描き、大学に親しみを感じながら、オープンキャンパスに参加いただけたのではないかと思います。(入試・広報部 前河 泰正)

ご期待下さい！ 来春のオープンキャンパス開催

平成25年3月23日(土)に新学年を対象とした「春のオープンキャンパス」を守口キャンパスにおいて開催いたします。今回の新たな取り組みとして、開催冒頭で、全体説明会を実施することにより、訪れた来場者の皆さま全員に本学の理念や思いを伝え、ご理解いただくことを考え、現在準備を進めております。2月上旬には、本学ホームページに春のオープンキャンパス情報を掲載する予定ですので、ご覧いただければと思います。

体験講座に熱い眼差し

説明や運営 生徒会が中心に

も相談コーナーや「制服試着」そして「個別相談」と、滝井高が充実したと思っております。

オープンスクールも好評

高校・中学の
入試イベント

出身中学の先輩と交流も

入試対策、11講座を開講

大和田高

大和田高校の「オープンスクール」は、9月15日に開催。281組400人以上の生徒と保護者が参加、吹奏楽部の演奏によるオープニングで始まり、第一部では5教科の教員による入試対策講座が11講座開講され、参加した生徒は先生の説明を熱心に聞いていた。第二部では出身中学の先輩との交流会を実施。地元の話や入試説明を聞き、大和田の生

学校案内は在校生が担当

大和田中

大和田中学の「オープンスクール」は、7月21日に開催。昨年度を上回る84組の児童と保護者が参加、吹奏楽部の演奏によるオープニング、「パソコン体験」「手作り花火体験」「ペーパークラフト(パタパタ飛行

機)作り」「クラブ活動体験」などで、在校生とも交流しながら和気あいあいとした。続いて、10月27日には「入試説明会・プレテスト」を実施した。入試説明会には昨年度を上回る100組の児童・保護者が参加された。保護者の方々には学校の概要や入試説明をしたり、在校

薬学系カリキュラム

来年度 特進コースに設置

滝井高

本校は看護進学・幼児保育進学などキャリアに直結したコースを設置し実績をあげていますが、来年度からは特進コース内に新たに薬学系カリキュラムを導入し、薬剤師を目指す生徒の受け入れを行います。薬剤師を目指すコース・系を有する高校はあまりありませんが、女性の多い職業分野ですので、女子高としての本校の取り組みは意義あることと考えています。

1年次は現行特進コース(文系)のカリキュラムが中心となりますが、2年次以降は薬学部受験に即した独自のカリキュラムで学びます。また、1年次においても長期休暇中に「化学実験」などの実習をします。そして、一人ひとりのモチベーションを高めるために、薬剤師が活躍する現場や施設見学など「体験学習」を行います。3年次には受験対応の演習科目や研究科目など「実践的な授業」や「特別講習」などで、志望校合格へのジャンプアップを図ります。また、既に3大学の薬学部の推薦指定校も得ています。今後更に近郊の大学の指定校を得られるよう活動をしていきます。(校長 中田 碩也)

HP「校長ブログ」アクセス多く好評

大和田中・高校

今年度大和田中・高校の改革のひとつに、ホームページの一新を掲げた。具体的には、別々だった中学・高校をひとつ

にし、経費削減と情報の一元化を図った。その中で、校長ブログをほぼ毎日掲載することにした。11月中旬時点で約140本。年度末200本掲載を目指している。毎日多くのアクセスがあり、本校の保護者の方々をはじめ、生徒や受験生、教育関係者から直接お声掛けをいただくこともしばしば。学校の現状を出来るだけ客観的かつ正確に伝えることに努めている。

広報の仕事は、教育の前身、内容をどのように策定するのかという学校改革とは不可分な分野。したがって、小手先の広報戦略だけでは生徒は集まらない。教育内容が魅力的で、どれくらい現場努力がなされ、成果が現れているのか。そこが問われるという主旨を語った。教育の前身を改めようという呼びかけは、私立・公立の別なく、国家、国民の利に資するものである。学園関係者の理解を受け、実施させていただいた。学園全体の社会的貢献は実現されたこと確信している。

府立高の広報活動 支援で講演会実施

大和田中・高校

府立高校広報活動の勉強会講師として、広報担当者を対象

に、9月28日、10月2日、3日の3日間にわたり、天満橋で講演会を行った。府立高校の発展のために、私学の校長が助言することに、異論を唱える立場の人が存在することは承知している。

BOOK

- ◆新刊 国際大・短大
 - 「日本に生きる移民たちの宗教生活」ニユーカマーのモたらす宗教多元化」経営デザイン教授 三木 英 共著
 - 「現代宗教2012」大災害と文明の転換」経営デザイン教授 三木 英 共著
 - 「企業統治と経営行動」経営デザイン教授 日野隆生 共著
 - 「ローカル・ガバメント論」地方行政のルネサンス」法律政策准教授 田中 優 共著
 - 「人間的福祉」とバリ」アフリカ「ちがいは素敵」があたり前になるように」人間健康教授 橋本義郎 著
- 「多関運動学入門(第2版)」スポーツ行動教授 徳原康彦 共著
- 「豊穣の日本美術」国際コミ講師 村田隆志 共著
- 「再発見 日本の書画の美」暮らしに息づく山形・長谷川コレクション」国際コミ講師 村田隆志 共著
- 「ロンドンを旅する60章」ライフデザイン教授 小山直子 共著
- 「秘書概論」ライフデザイン教授 平田祐子 共著
- 「ビジネスのマネー・文書・実務の基礎知識」ライフデザイン教授 平田祐子 共著
- 「The 3課題その11」異常事態発生」滝井高校職員 橋本喬木(光史) 著

滝井高

滝井高校では、10月27日10時から第2回オープンスクールを実施しました。

今回のオープンスクールには中学生・保護者の皆さん合わせて約300人の方々が参加されました。体験講座の中には予定の人数を相超える参加者があったものもあり、大変多くの皆さんが参加されました。

本校のオープンスクールでは、生徒会が中心となって説明や運営を行っています。コースの先生と生徒がコンビとなって行った「科・コース説明」では、ユーモラスな説明に会場に笑い声が響いていました。体験講座にも真剣な眼差しで取り組み、在校生による「何で

ゼミ担任教員との連携更に推進



本学主催の企業セミナー。敬遠採用の傾向が強まる中、一段と緊張した雰囲気の中で、熱心に耳を傾ける学生たち(10月17日、梅田センタービル)

24年度就職中間報告 キャリアセンター

保護者対象就職説明会で情報共有につとめる(5月19日、守口キャンパスの様子)



保護者対象説明会も

平成25年3月卒の新卒採用は、(社)日本経済団体連合会による「採用選考に関する企業倫理憲章」の改定により、就職活動のスタート(企業の広報開始)が従前の10月1日から2ヵ月遅い12月1日に、選考も4月1日開始となりました。このような選考期間の短縮化と厳選採用傾向への対応のため、キャリアセンターでは、今年度からゼミ別(社)面接担当者配し、ゼミ担任教員との連携と、個別面談による学生への指導を強化しました。

また本学主催の企業セミナーで学生と企業のマッチング(斡旋)と参加学生のフォローを行った結果、平成24年11月末現在の就職内定者は、大学274人(昨年198人で38%アップ)、短大106人(昨年88人で21%アップ)と、昨年度の状況を上回っています。

また保護者の方に、来春の就職環境、本学の支援体制や就職活動について深くご理解いただくために、本年5月19日に守口キャンパスにて「保護者対象就職説明会」を実施、また9月17日・22日の枚方・守口各キャンパスにおける「保護者懇談会」では、希望された保護者の方と個別面談も行いました。更に今年度から、保護者の方が登録された携帯メールアドレスに本学での就職支援行事などに関する情報提供も行っています。

キャリアセンターは、今後も学外での企業セミナーを始め、学内での企業マッチング(斡旋)会を頻りに開催するなど、全学生が希望の進路に進めるよう、学生一人ひとりへのきめ細やかなサポートを続けます。

キャリアセンター課長 中原 清治

本学主催企業セミナーの強化により 内定者 大学38%、短大21%アップ

人との繋がり大切さ知る



参加しました インタビューに

派遣先 京都信用金庫 大阪国際大学 現代社会学部法 律政策学科3年次生

大隅 将司

私は、10日間にわたるインタビューに参加しました。研修は、金融の基礎を学ぶことから始まりました。そして、手形交換所、日本銀行、京都信用金庫事務センターにも見学に行き、金融業について学びました。

特に印象に残ったのは、京都信用金庫枚方支店での営業店体験研修です。10日間の内のわずか2日間でしたが、

窓口の裏側での業務を見学でき、取引先企業に同行訪問させていただくなど、貴重な体験ができました。新人職員の仕事にも密着させていただき、新人職員の方

が仕事に打ち込む姿を見て、見習うべきこと、学ぶべきことが多くあり、大きな刺激を受けました。この10日間で、直接仕事に

関わること、人とのつながりという大切さも知りまし

会に出たら当たり前なのだと感じ、働いているすべての方がそれを実行しているのが目に見えて分かりました。この2週間は私にとって将来

インターンシップ体験記 大学

派遣先 枚方公済病院 大阪国際大学 人間科学部ス ポーツ行動学科3年次生



杉原 慧 「おはようございます。そう患者様にお声かけ

するの朝一番の私に与えられた仕事でした。

いる方もいらつしやう、心配りが大変重要なので

自ら進んで行動を…実感

患者様の中には、健常者には想像できない不安を抱えて

す。実習中、周りを意識し、自ら進んで行動することが社

グローバルな人材育成

第25回大学「国際シンポジウム」



パネルディスカッション

「大阪とアジアをつなぐ人づくり」

第25回大阪国際大学国際シンポジウムは、10月12日に大阪ビジネスパーク円形ホールで開催されました。今年のテーマは、「グローバルな人材の育成と活用」です。人材育成の指針としてグローバルマインドを掲げるOIUに合致したテーマです。

長崎 緑氏をコーディネーターにお招きし、「大阪とアジアをつなぐ人づくり」をテーマに、ベトナムでの事業と日本、中国と日本の合弁会社、グローバルに展開する企業の立場から、具体的な人材育成の現状、課題、提案について活発な意見をいただきました。



株式会社システムティ

卒業生たちは今

大阪国際大学 経営情報学部 経営情報学科1Tコース '08年卒 長岡 勇希

私が勤めている会社は、ソフトウェアの開発・販売、サポートを行い、主に小中高大学向け、会員制スポーツクラブ向け、その他各種業務支援システムを取り扱う、京都に本社がある企業です。

入社当初は、大学向けのソフトを扱っている事業部にSEとして配属されました。大阪国際大学もお客様であるため、仕事上でも大学と関わる日が来るかな、と密かに期待していました

今は先輩方と比べるとまだまだ一人前には程遠いので、今後は先輩方を目標に仕事をこなしながら、自分の知識や技術を深める意味も込めて、まだ取得できていない資格・試験に向けてチャレンジしていきたいと思っています。

忘れていませんか?! 奨学金の返還を...

返還される奨学金は、次の学生に貸与する奨学金の原資となります。本学卒業生の方で日

知識や技術取得へ挑戦する

公立の小中高校向けシステムを扱う事業部に異動にな

思います。

学園広報 Review

学園設置の各学校からは、印刷物やインターネットで様々な情報が発信されています。「学園広報 Review」では、それらの中からいくつかをご紹介します。

大和田中・高校



公式サイトを8月にリニューアル。それまで別々のサイトだった中学と高校を一つにまとめ、中高一貫教育をイメージしやすくした。また、「校長ブログ」、クラウド型ウェブアルバムによる行事写真の公開、facebookの導入による双方向コミュニケーションなどで、これまで以上に公式サイトを活用して情報発信・共有に努めている。

大学・短大



入試・広報部では、「未来の〇〇から、メッセージ」をコンセプトに、進路選択を控えた高校生に寄り添うメッセージを、親しみやすい顔型のカードにして高校生に計6回送付。「毎回のメッセージが楽しみ」「イラストが可愛い」と好評を得た。

ひと

「つるし雛世界」制作手がけた 手ぬぐい・和雑貨会社社長

大阪国際大6期生 北野晃市さん (40)

新潟県魚沼地方の「道の駅・クロス10日町」に幸せを呼ぶとされる巨大なつるし雛が飾られている。高さ10メートル、直径28メートルの中に1万1655個の飾り雛が詰まっている。それまでの記録7045個を大幅に更新し、今年3月、ギネス世界記録に認定された。



制作したのは、京都市伏見区の手ぬぐい・和雑貨会社「京佑」で、社長は97年に国際大経営情報学部を卒業した北野晃市さん。北野さんの父辰(あきと)さん(65)が会長を務めるNPO法人「日本つるし雛協会」が3年がかりで構想を温め、京佑が中核になり、ボランティアの協力も得て作り上げた。つるし雛は、布で作った鶴や亀、うさぎ、梅の花、おひなさまなど108種類。十日町市に寄贈されたのは、京佑の店が越後湯沢にあり、つながりが深かったためで、この巨大な作品は「幸せを呼ぶつるし雛」と名付けられている。

東京生まれで、男3兄弟の長男の北野さんは、「思いついたら実行する」タイプ。千葉県の高校2年の時に、「人と違ったことがしたくて」国際交流ビザを取り、アメリカ・オレゴン州のハイスクールに留学、カレッジにも1年通って帰国。93年に国際大に入学した。「関西に行きたかった」と、枚方キャンパスの雰囲気、「アメリカのカレッジに似ていた」ので、選んだ。経営学の相業

宏二助教授(現早稲田大ビジネススクール教授)に出会い、仲間とともに先生を囲む勉強サークルをつくり、よく議論した。今も当時の仲間と互いに励まし合っている。卒業した年の秋、東京都江東区にできたサンストリート亀戸に京佑が店を出し、店長になった。店舗ディスプレイや広告代理店、テナント開発などのリーシング業界に携わった後だった。

京佑の商品は、日本の伝統技法の注染(ちゆうせん)手ぬぐいやポリエステル縮緬で作った風呂敷などの和小物、今治のタオル、葛飾のブリキなどを現代に蘇らせている。新しいデザインや用途を考え、外国でも使ってもらえるように工夫する。足袋ソックスなどは、英、仏、オーストラリアなどでも人気だ。伝統工芸を大切に、日本の良さを世界に発信することを心がけている。通り



直言

Office Wada 代表 和田 浩子

初めに自己紹介を。大阪外国語大学を卒業後、消費材で世界トップメーカーのP&Gが日本参入間もない頃、女性で初めてのマネジメントキャリアとして日本支社に入社しました。すぐにアドバタイジング本部(現マーケティング本部)に配属され、以来18年間マーケティングでキャリアを積んだのち、ジェネラル・マネジャーとして当時最大の事業部を担当。その後、ヴァイスプレジデント、コーポレートニューベンチャー

アジア担当を拝命。2000年春に入り、まるで家庭のようにコア

リタイヤ。その後、ダイソン日本支社長、日本トイザらス代表取締役社長兼COOを経て、現在は、Office Wada代表としてコンサルティングや講演等を提供しています。華やかなキャリアですねとよくわれます。それは努力と一生懸命の成果です。子供の頃から他の人と違うことをしよう、9才の時学が始めた英語がいける仕事をしようと思えました。この2つが私の原動力でした。やがてP&Gに入り、まるで家庭のようにコア

キャラクターグッズ販売コーナーがオープンしました!



大学・短大のマスケットキャラクター・キャブテングロビーとチャームイジエンスのグッズのコーナーが枚方・守口両キャンパスにできました。枚方はコンビニ内、守口は紀伊國屋書店内で、マグカップや文具、タオルなどを販売中です。キャンパスに來られたら、ぜひお立ち寄りください。

一遍な商品でなく、「やばいやつ、いけるやつ」を作りたい、という。ギネスへの挑戦も、東日本大震災や豪雨災害など天災や事件を振り払い、日本の元気を世界に発信する狙いでもあった。「世界、特に東南アジアの人たちに使ってもらいたい。恵まれない子どもたちの力にもなりたい」。同じ国際大を卒業し2つ下の妻美輝子さんとの間に6歳と3歳の男の子。毎日帰宅が10時を過ぎる。時間があれば、子どもと一緒にいる時間をできるだけ取るようにしているパパだ。「学生時代にもっと勉強しておきたかった」。その言葉が今の後輩たちに送りたいという。

滝井高校



滝井フェスタ 9/14・16・10/2 コーラス大会、文化祭、体育大会からなる滝井高校最大の行事で、今年も生徒らのパワーが炸裂!

文化祭 9/9

野外ステージや生徒会の新企画も飛び出し、例年以上に盛り上がりを見せた。

大和田高校



第26回奥田メモリアルフェスティバル「初めての方でも楽しめる」上方伝統芸能ナイト 11/15

地域の方々など約700人を招待し、敷居が高く感じられる伝統芸能(講談、落語、狂言、能)をハイライトで上演し、お楽しみいただいた。



GLOBAL MIND イベント写真館

大学 灯華祭 11/3、4

テーマ「Harmony」。地域住民と学生たちが共に楽しんだ。



大学 短大 守口キャンパス



優花祭 10/20、21

テーマ「Connection ~人と人とのつながり~」学生たちの笑顔がはじけた。



大和田中学

学園

文化祭 9/23

「Let's make it! Let's try it!! Let's enjoy it!!! ~みんなで作ろう 最高の文化祭~」

ハーバード大学アカペラグループ「DIN & TONICS」来学 7/27

学生・生徒との交流会やコンサートを開催した。



幼稚園



運動会 10/14

毎日一生懸命練習したね。いよいよ本番!

- 本誌に記載の学年、肩書き等はすべて情報収集時のもので、発行時期と異なることがあります。ご了承願います。
- 卒業生の住所等の変更、送付不要のご連絡は同窓会提携会社プリンティングサービス TEL.06(6167)1751 E-mail: info@printing-s.jp までご連絡ください。
- 卒業生以外の方の送付に関するご連絡や、本紙に関するご意見、ご感想等は学園総務課までご連絡ください。電子メールもご利用ください。

各学校の最新ニュースは公式サイトでご覧いただけます。

大阪国際学園

検索

学園